

講演会型＋子育てサロン型（中学校）

学校名等	羽島郡笠松町立笠松中学校
実施日時	平成28年7月8日（金）19:00～21:00
会場	笠松中学校 屋内運動場 1階研修室
参加人数	25人
学習課題（分野）	「今、知っておきたい ほめ効果」～心の視野を広げよう～
運営者の願い	共働きが多く、子どもは塾等で、会話が少ない現状。「ついイライラして子どもに怒ってしまう。」「子どもと上手くコミュニケーションがとれない。」「自分に自信がもてない。」という保護者。だからこそ、ほめ効果を知り、心の視野を広げる実践的な子育てサロンにより、自信をもってコミュニケーションをとってほしい。

学習の内容

<委員長あいさつ>

講師紹介：日本ほめる達人協会 高橋 恵美 氏



<講演＋子育てサロン>

はじめに、「笑顔と握手の交換」で、和やかスタート。
『ほめるとは、自分の周りの人・もの・出来事の価値を発見して伝える』『ほめることを人のコントロールに使わない』ことを学んだ。また、叱らないことではないし、ほめっぱなしにしないことが重要。ほめることで、相手の心のコップを上向きにしてから、アドバイスをすることが大切。

①ワーク1「プラス効果への変換」 *5人ずつのグループでワーク

『短所だと思ふことを長所に言い換えてみましょう』

- ・気が短い⇒切替が早い。瞬発力あり。 ・マイペース⇒人に流されない。自分もっている。
- ・すぐ怒る⇒感情豊か。熱い人。 ・優柔不断⇒やさしい。たくさん道がある。

【学び】マイナスの隣には、プラスがある。人は多面体で、一方からでなく多方面からプラスにみる脳トレーニングをする。

②ワーク2「これは何のチャンス？」

『起きる出来事の価値を発見しましょう』

- ・急に成績が落ちた⇒上げるチャンス。自分の勉強法を見直すチャンス。
- ・仲間はずれにされた⇒違う人と触れ合えるチャンス。新たな友達づくりができるチャンス。

【学び】日常の出来事を何のチャンス？と、親子や夫婦と一緒に考えることで、新たな価値発見へとつながり、愛情も深めることができる。

③ワーク3「価値の発見・人物編」

『身近な人の素晴らしい点を探し、エピソードを通して紹介しよう』

- ・神経質な妻は、いつも家庭内を美しい環境にしてくれる。誰が来ても美しいねと言われる。
- ・息子がお茶を出して接客してくれた。知らないうちに学んでやってくれ、頼もしい息子だ。

【学び】当たり前の日常の行為をエピソードで思い出すと、素敵な気持ちになったり感謝を抱いたりし、ほめている自分も相手も最高の笑顔になる。

最後に、「3S(すごい、さすが、すばらしい)と、ほめてみる。」「微差の積み重ねが大きな成果につながる。」「すべての人の可能性と成長を信じる。」ことを学び、みんなが笑顔になった。

<アンケートより>

- 普段あまりほめないのが、子どもや家族・職場等で人と向き合う時は、「3S」を意識したい。
- ピグマリオン効果と可能性の話、ステキだと思った。自分ではできると信じて、まだまだ成長する可能性があると信じて、毎日ががんばりたい。また、ほめることは、思った以上に大切なことだ。



★「中学生の子育てや躰についての悩みを解決し、自らの子育てに自信がもてるようにしたい。」という目的意識が明確である。



☆保護者仲間の講師で、「ほめる達人」を招聘
☆お互いの思いを語り合える学習形態で研修
「子育てサロン型」
(5人のグループ)



★ワークの内容が新たな視点や価値発見の学びである。【学びの喜び】

- ①プラス効果への変換（短所を長所に）
- ②これは何のチャンス？（出来事の価値発見）
- ③価値の発見・人物編（身近な人のよさ見つけ）



★日時の工夫がある。
19:00～の設定で、夫婦で参加したり、働く人も参加したりできるようにしている。

男性も多く参加あり。